CHIBA

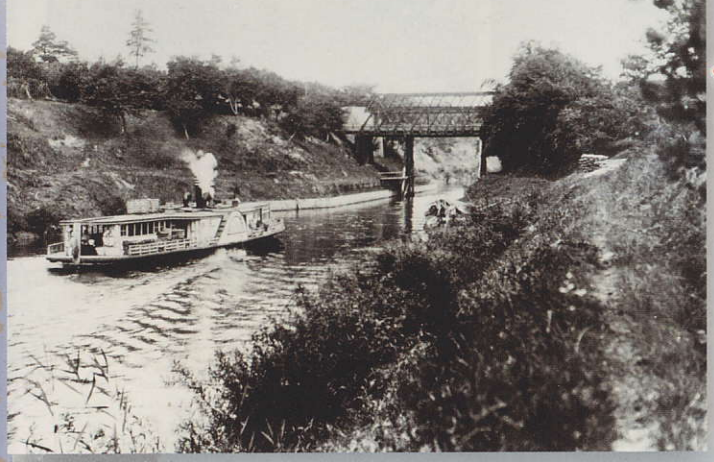
日本財団 助成事業
The Nippon Foundation
船の科学館・海と船の博物館ネットワーク

千葉県立関宿城博物館
野田市郷土博物館
流山市立博物館

利根運河通水120年記念合同企画事業

平成22年度 **企画展**

利根川舟運と利根運河



平成22年

10/5(火) ▶ 11/28(日)

会期中無休

企画展入館料

◆一般　300円（団体240円）
◆高・大学生 150円（団体120円）
◆中学生以下・65歳以上は無料

開館時間

◆午前9時～午後4時30分（ただし，入館は午後4時まで）

交通のご案内

●東武野田線川間駅南口からまめバス（途中乗継）約70分
●東武野田線川間駅北口から朝日バス（境町行き）約35分，関宿城博物館下車
●東武伊勢崎線東武動物公園駅から朝日バス（境車庫行き）約30分，新町バス停下車徒歩約15分

野田市郷土博物館
特別展
「利根運河三十六景～運河をめぐる，ひと・もの・こと～」
平成22年10月9日(土)～12月6日(月)

流山市立博物館
企画展
「利根運河120年の記録～魅力ある土木遺産～」
平成22年10月9日(土)～12月5日(日)

千葉県立 関宿城博物館

〒270-0201 野田市関宿三軒家143-4
TEL. 04-7196-1400 FAX. 04-7196-3737　http://www.chiba-muse.or.jp/SEKIYADO/

利根運河通水120年記念合同企画事業

企画展 利根川舟運と利根運河

今年は利根運河が通水してから120年を迎える記念すべき年にあたります。そこで，千葉県立関宿城博物館・野田市郷土博物館・流山市立博物館の３館合同企画事業として，利根運河について各館ごとのテーマで紹介することになりました。

本企画展では，利根運河の建設がなぜ必要であったのか，またどのような役割を担ってきたかを江戸時代中期以降の利根川舟運をとおして解説するとともに，現在日本各地に存在する運河を紹介しながらこれからの利根運河について考える一助とします。

【展示内容】

Ⅰ　幕末の利根川舟運
- 1　浅瀬の状況
- 2　輸送方法の工夫
- 3　新たな輸送路を求めて
- 4　幕府の対策

Ⅱ　利根川舟運の近代化
- 1　利根川舟運の近代化
- 2　利根運河通水

Ⅲ　利根川舟運の終焉
- 1　陸上交通の発達
- 2　たび重なる自然災害
- 3　河川改修工事

Ⅳ　日本の運河とこれからの利根運河

主な展示資料

天和二年守谷領と小金領領境出入裁許絵図之写
後藤敏氏蔵　柏市教育委員会保管

利根運河開削工事状況
流山市立博物館提供

東京両国通運会社
川蒸汽往復盛栄真景之図
当館蔵

東京高輪鉄道
蒸気車走行之全図
物流博物館蔵

廻漕問屋開業広告
当館蔵

現在の利根運河

【関連事業】

■展示解説会
11月３日(祝・水)，11月21日(日)
11時からと13時30分から（１日２回）

■３館を巡るバスツアー（日帰りの旅）
①11月６日(土)②11月13日(土)
往復ハガキによる事前申し込みが必要（10/6～10/23）
（詳細はお問い合せ下さい。04-7196-1400）

■３館合同記念講演会
日時　平成22年10月16日(土) 13時30分から15時30分
演題　「オランダ人お雇い技術者と利根運河」
講師　高崎哲郎氏(土木史研究家・作家：柏市在住)
会場　興風会館大講堂(野田市)
後援　財団法人　興風会
費用　無料(当日受付)